

いつの時代も変わらぬ想い”新たな社会ニーズに応える”ために

日建設計の歴史は、未知に取り組み、未踏のプロジェクトを実現するための挑戦の歴史です。新たな社会ニーズに応えるためには、いつの時代も、立場や専門性の垣根を超えたコラボレーションが必要でした。これこそが日建設計の変わらぬ仕事の姿勢です。

こうした歴史を踏まえて2017年に策定されたブランドタグライン「Experience,Integrated」には、「クライアントをはじめ、プロジェクトに関わる様々な人々の想いや経験に、プランナー、建築家、エンジニアなどプロフェッショナルの多彩な知識や経験を組み合わせることを力として、豊かな体験を社会や人々へお届けしたい」という想いを込めています。

1900	明治 33	住友本店臨時建築部設置
1933	昭和 8	長谷部鋭吉、竹腰健両氏が住友合資会社の援助をもとに独立して、長谷部・竹腰建築事務所を創立
1945	昭和 20	日本建設産業株式会社と社名変更され住友販売店全部を併合して、新たに商事部門を増置（現在の住友商事株式会社前身）
1950	昭和 25	同社建築部は分離独立して、日建設計工務株式会社を設立
1970	昭和 45	社名を株式会社日建設計と改称、株式会社日建ハウジングシステム設立
2005	平成 17	日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社設立
2006	平成 18	株式会社日建設計総合研究所設立



地震と風を克服した未知の高さへの挑戦
～東京スカイツリー®（2012）
撮影：新良太



中国における駅まち一体開発
～上海緑地中心（2017）
撮影：上海渡影文化伝搬



100年に一度の再開発
～渋谷駅周辺再開発
写真提供：渋谷スクランブルスクエア